

## 第4回三木市教育振興基本計画検討委員会 意見要旨

### 1 開催日時

令和8年1月26日（月） 午後7時～午後7時55分

### 2 開催場所

三木市中央公民館 4階 大ホール

### 3 意見要旨

#### (1) 「第4期三木市教育振興基本計画」(案)に係るパブリックコメントの募集の結果について

##### (主な意見)

- 英語教育については外国語活動という捉え方で実施しており、授業の時間を削るわけではなく、プラスの時間で実施してきたという印象である。
- 英語教育はコミュニケーションのツールとして英語を用い、コミュニケーション能力を高めていくことも大きなねらいと考える。
- 三木市教育委員会の事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価報告書や全国学力・学習状況調査の結果分析等のデータを公表する際には、市民への周知という点に気を遣ってほしい。

#### (2) 「第4期三木市教育振興基本計画」(最終案)について

##### (主な意見)

なし

#### (3) その他

- 会議に参加して、今まで知らなかった計画策定の仕組みがよく分かった。  
三木市が教育に力を入れているということが市民に更に伝わればよいと考える。

- 子どものために力になりたいと考えてこの会議に参加した。本当によい経験ができた。
- 先生とは違い、子どもたちとは短い時間しか接する機会がないが、子どもたちが助けを求めてきた時にはしっかり対応したい。
- 兵庫県が「インターネット上の誹謗中傷、差別等による人権侵害の防止に関する条例」を1月1日に施行した中、教育委員会が子どもたちへのインターネットに対するリテラシー教育を推進しているということで、教育委員会と市長部局が互いに同じ目線を持って、今後もしっかり取り組む必要がある。
- 食育の推進、また、児童虐待、ヤングケアラー、貧困など、子どもが抱える多様な問題についてしっかり記載されていることに感謝する。
- 三木市総合計画で「誇りを持って暮らせるまち三木」をテーマに掲げる中で、子どもたちも誇りを持って暮らせるということは、教育の部分が非常に重要であると考えてる。  
また、今回の計画は「三木市文化振興計画」及び「三木市スポーツ振興計画」を含めた一体的な計画ということで、より連携できるのではないかと考えている。
- 部活動についての意見が反映されていることに感謝する。  
計画は作ってゴールということではなく、教育大綱の骨格となり、さまざまな事業が実施でき、その効果が発現して市民に還元していくということが究極の目的である。  
ここからがスタートということで、しっかりとした事業及び予算の執行をお願いしたい。
- 社会教育の分野は、大人が子どもたちのためにできる場所ということ、とても大切であり、その人材づくりが必要ということが計画に取り入れられたことは、とても大きなことと考えて

いる。

- 子どもと直接、一番近くで向き合っている現場の者が、しっかりとこの計画を念頭に入れ、専門性を生かして子どもたちを育てていかなければならないと改めて感じた。
  
- 委員会としては今回で終了するが、計画としてはここからスタートラインに立つと考える。  
委員それぞれの立場から、今後のこの計画の進行について、ぜひ関心を持って目を向けていただきたい。
  
- 委員の皆様には4回の本委員会において尽力いただいたことに、また、事務局が一丸となり計画を作られたことに厚くお礼申し上げる。